

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月19日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	12110
政策名 (章)	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます	評価担当課	保健所 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 地域保健対策の充実		地域保健課
施策名	総合的な地域保健医療体制の確立	課長名	宮崎達夫

1 施策の概要・目的

一元的な保健サービスを供給するため、健康の保持増進から病気の予防、診断、治療、リハビリテーションまでの一貫した総合的な保健医療体制の確立を図る。

2 施策の現状

- 1 総合保健医療センター及び保健所を設置し地域保健の専門的、技術的拠点としている。
- 2 医療機関等との連携によりリハビリテーションによる生活の質(QOL)を高めるための体制づくりを行っている。
- 3 医療費助成事業の実施。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

30,695,148 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

49,830 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **1** 番目です。

(4) 施策に要している人員

32.19 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	総合保険医療センター維持管理費(維持補修費を含む)比較率。 平成12年度のセンター維持管理費を100として比較	安全かつ衛生的な施設管理運営を行う	106 % 単位	0 50 100	96%	16
			110 % 単位			達成度
指標2			単位	0 50 100	%	目標年度
			単位			達成度
指標3			単位	0 50 100	%	目標年度
			単位			達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

保健・医療・福祉を取り巻く環境の変化により、サービスに対する市民ニーズも、多様化・複雑化していることから、身近な地域における保健・医療・福祉に関する市民ニーズを的確に把握しよりきめ細やかな対応を図る必要性がある。また、ウェルネスがみはらは業務上24時間開館するなど市民にとって本施策の必要性は高まっている。

6 有効性…期待される効果があがっているか

市民が適切な保健・医療サービスを受けるための基盤づくりを行うもので時代の要請に合っており有効に機能している。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

基盤づくりという本施策の性質から効率性を追求することは馴染まず、代替性も難しいが、維持管理費等のコスト面の検討を行いより効率的な運営を行っていく必要がある。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

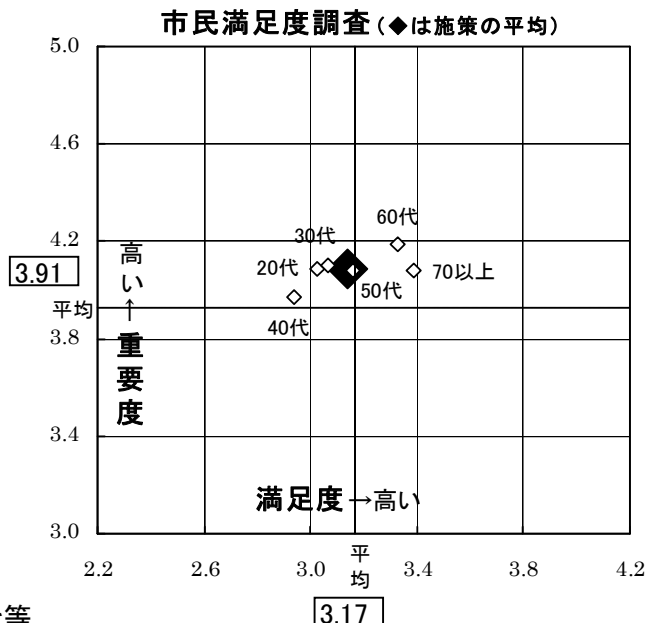
◆この施策の満足度は、3.142で、調査した51施策の中で29番目です。

◆この施策の重要度は、4.085で、調査した51施策の中で18番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.667で、調査した51施策の中で18番目です。

◇年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、40歳代で最も低くなっています。重要度も40歳代で最も低くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

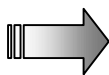


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- ・身近な保健サービスの拠点としての中域圏の保健福祉センターの整備。
- ・保健・医療・福祉の有機的連携。
- ・健康危機管理に対応するためにも施設の24時間体制が必要になる。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

市民が身近なところで保健福祉のサービスを受けるための拠点づくりを行うとともに、それに携わる専門職の資質の向上を図り地域保健対策を推進する。

11 2次評価

	説明
<input checked="" type="checkbox"/> A	医療、保健、福祉が連携した総合的な拠点づくりを行い、市民に身近な保健福祉サービスの充実を図ること。特に、保健福祉総合相談窓口や在宅ケア連携室の機能の充実を図ること。
<input type="checkbox"/> B	
<input type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明
市民が身近なところで保健福祉のサービスを受けるための拠点づくりを推進するなど、保健・医療・福祉の連携を充実し、有効な事業展開を図るべきである。

施策名 総合的な地域保健医療体制の確立

施策コード 12110

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要									施策中の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性	今後の進め方	
総合保健医療センター維持管理費	地域保健課	15	221,464	1.00	AAA	A	A	A	/	/	A	A	継続	1
保健所情報化推進事業	地域保健課	14	29,918	2.00	A	A	A	A	A	A	/	継続	2	
母子保健計画作成事業	地域保健課	15	8,635	2.00	AA	A	A	A	/	/	A	A	完了	3
保健所・保健センター職場研修	地域保健課	14	4,768	0.38	AA	B	A	B	A	A	/	継続	4	
在宅ケア連携事業	地域保健課	14	6,667	0.08	A	C	A	B	A	B	A	/	継続	5
在宅ねたきり高齢者等訪問歯科保健診療事業	地域保健課	14	2,687	0.05	B	C	B	B	C	B	A	/	継続	6
地域保健医療審議会経費	地域医療課	14	1,158	0.04	A	B	A	A	B	A	A	/	継続	7
保健衛生功労者表彰費	地域保健課	14	2,727	3.00	A	A	A	A	A	A	A	/	継続	8
保健衛生統計調査費	地域保健課	14	3,396	1.53	A	B	A	A	A	B	A	/	継続	法
ひとり親家庭等医療費助成	地域医療課	14	228,954	1.17	AAA	A	A	A	A	A	A	/	継続	県
小児医療費助成事業	地域医療課	15	722,450	2.00	AA	B	A	A	/	/	A	A	継続	県
重度障害者医療費助成事業	地域医療課	14	847,365	2.17	AAA	A	A	B	A	B	A	/	継続	県
医療給付費	地域医療課	14	28,296,018	2.01	AAA	A	B	A	A	A	A	/	継続	法
審査支払手数料	地域医療課	14	153,418	2.01	AAA	A	B	A	B	A	A	/	継続	法
診療報酬明細書点検嘱託員経費	地域医療課	14	16,832	1.51	AAA	A	A	A	A	A	A	/	継続	法
保健福祉総合相談業務経費	保健福祉総合相談	15	143,022	11.20	AA	B	A	B	/	/	A	A	継続	再掲
福祉相談事業補助金	地域福祉課	14	5,669	0.04	AA	C	A	A	A	B	A	/	継続	再掲

合計 17 事務事業

30,695,148 32.19 千円 平成14年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
人 平成15年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、公平性